

平成23年3月25日
株式会社日本政策金融公庫
農 林 水 産 事 業

22年景況DI マイナス幅が拡大、過去最低の水準 天候などを反映 先行きはマイナス幅縮小

— 平成22年農業景況調査結果 —

○ 22年は稲作や畑作などの景況DIが一段と悪化

22年の農業全体の景況DIは▲25.2で、平成8年調査開始以来一番低い水準となった。部門別では、概算金が低下した稲作や、畑作、きのこの景況DIのマイナス幅が拡大したほか、酪農（北海道）がマイナス値に転じた。一方、前年マイナスであった養豚、採卵鶏はプラスに転じた。

○ 23年見通しDIには新しい経営安定対策に対する期待も

23年の見通しDIは▲19.9と22年の景況DIに比べマイナス幅を縮小した。稲作、畑作が依然としてマイナスが大きい値となったほか、採卵鶏を除く畜産業種が、マイナス値となった。一方、採卵鶏では、23年度から始まる新しい経営安定対策（価格差補てんと成鶏更新）に対する期待から、プラス幅が拡大した。

○ 景況DI（実績）は6年連続マイナス、猛暑による生産低下響く

17年に景況DIがマイナス値に転じてから、6年連続でマイナスとなった。原油・飼料価格の高騰や景気低迷の影響が続いていたが、昨年は、夏場の猛暑による生産量や品質の低下、畜産経営における生産性の低下などによる影響と思われる。23年においても、畜産経営では昨年の影響が一部残るものと思われるが、景気動向と天候による影響に注視していく必要がある。

※ 本調査は1月に実施したものであり、東北地方太平洋沖地震の影響は反映されていません。なお、景況調査は、23年度以降年2回実施する予定であり、次回調査は7月上旬に実施し、9月ごろ公表予定です。

調査時点・方法 平成23年1月・郵送調査
調査対象 スーパーL資金融資先のうち20,994先
有効回答数 6,424先（回収率30.6%）

【(注) DI (Diffusion Index = 動向指数) について】

DIは、前年同期と比較して、「良くなった」の構成比から「悪くなった」の構成比を差し引いたものです。

景況天気図

経営部門	H22.1	H23.1調査	
	実績	実績	見通し
農業全体	→ → ▲ 17.4 ▲ 25.2 ▲ 19.9		
稲作 (北海道)	→ → ▲ 29.0 ▲ 36.9 ▲ 41.3		
稲作 (都府県)	→ → ▲ 11.7 ▲ 55.5 ▲ 39.3		
畑作	→ → ▲ 14.5 ▲ 32.2 ▲ 32.2		
露地野菜	→ → ▲ 15.4 ▲ 2.0 ▲ 16.0		
茶	→ → ▲ 54.2 ▲ 32.1 ▲ 19.1		
果樹	→ → ▲ 34.1 ▲ 0.9 ▲ 2.6		
施設野菜	→ → ▲ 23.8 ▲ 6.9 1.2		
施設花き	→ → ▲ 29.7 ▲ 20.5 ▲ 5.1		
きのこ	→ → ▲ 20.4 ▲ 51.8 ▲ 32.5		
酪農 (北海道)	→ → 13.2 ▲ 37.8 ▲ 30.2		
酪農 (都府県)	→ → 21.8 0.0 ▲ 5.1		
肉用牛	→ → ▲ 20.7 ▲ 7.4 ▲ 1.7		
養豚	→ → ▲ 52.4 15.5 ▲ 4.7		
採卵鶏	→ → ▲ 18.1 14.1 33.1		

(注2) ≤ -50 < ≤ -20 < ≤ -5
-5 < < 5 ≤ < 21 ≤

調査様式

平成22年の経営を振り返って、平成21年の経営と比べるといかがでしたか。

農業経営の全体的な業況は

1:良くなった 2:変わらない 3:悪くなった

平成23年の経営の見通しについてどのようにお考えですか。

平成23年の経営見通しは、平成22年と比べて

1:良くなる 2:変わらない 3:悪くなる

調査概要

調査時点 平成23年1月・郵送調査

調査対象 スーパーL融資先 (20,994先)

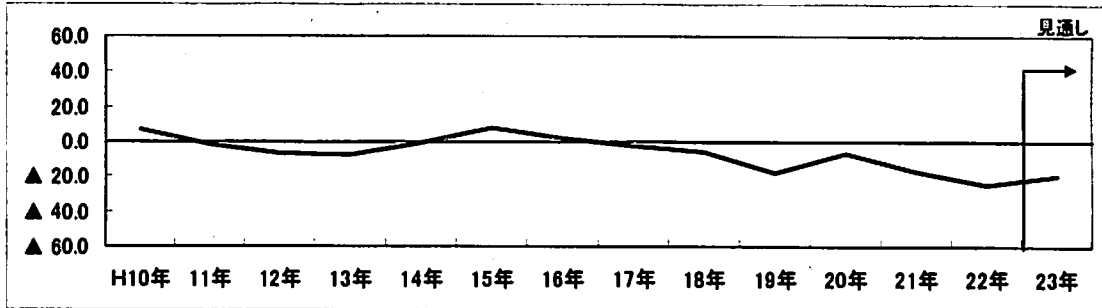
有効回答数 6,424先 (回収率30.6%)

農業全体

H22年1月調査	比較	H23年1月調査	比較	今後の見通し
景況DIは、▲17.4。 稲作・畑作がマイナスに転じ、茶・養豚がマイナス幅を拡大した。プラスとなったのは、酪農のみであった。	➡	景況DIは、▲25.2。 前年調査よりマイナス幅を拡大した。稲作、畑作がマイナス幅を拡大したほか、北海道酪農がマイナスに転じた。プラスは、養豚、採卵鶏の2業種だけとなった。	➡	見通しDIは、▲19.9。 マイナス幅を縮小している。採卵鶏がプラス幅を拡大し、施設野菜がプラスに転じた以外はマイナス値であった。

	H22年1月実績	H23年1月実績	見通し
農業全体	▲ 17.4	▲ 25.2	▲ 19.9
1 良い	20.3	19.8	20.8
2 変わらない	42.0	35.2	38.8
3 悪い	37.7	45.0	40.7

H23年1月調査 農業全体	
調査対象者数	20,994
回答者数	6,424
回答率	30.8

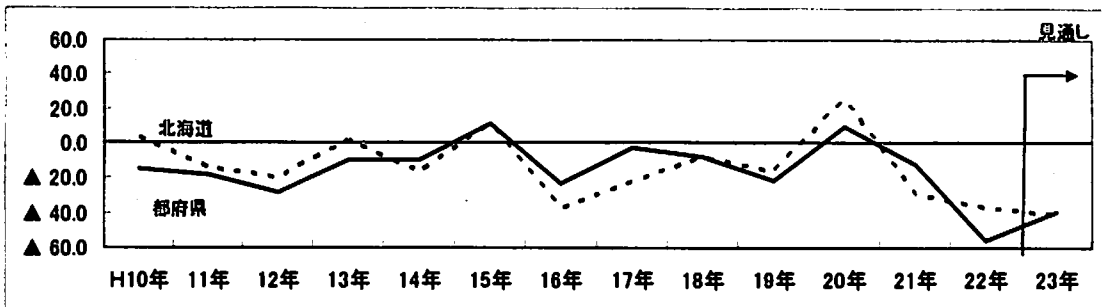


稲作(北海道・都府県別)

H22年1月調査	比較	H23年1月調査	比較	今後の見通し
景況DIは、北海道▲29.0、都府県▲11.7。 21年産米の価格は、豊作であった前年産の繰越在庫や消費者の低価格志向を受けて下落が続いたため、マイナスに転じた。	➡	景況DIは、北海道▲36.9、都府県▲55.5。 前年調査よりマイナス幅を拡大した。供給過剰との見方から概算金が大幅に引下げられたことや、猛暑により一等米比率が過去最低となったためと思われる。	北海道 ➡ 都府県 ➡	見通しDIは、北海道▲41.3、都府県▲39.3。 北海道は、マイナス幅を拡大した。業務用需要が伸びず価格が下落しているためと思われる。一方、都府県は、マイナス幅を縮小した。コシヒカリの引き合いが出てきたこと、1等米比率の回復を期待しているためと思われる。

	H22年1月実績	H23年1月実績	見通し
稲作(北海道)	▲ 29.0	▲ 36.9	▲ 41.3
1 良い	14.5	12.4	10.4
2 変わらない	42.1	38.3	37.9
3 悪い	43.4	49.3	51.7
稲作(都府県)	▲ 11.7	▲ 55.5	▲ 39.3
1 良い	21.0	9.3	13.2
2 変わらない	48.2	28.0	34.2
3 悪い	32.7	64.7	52.5

H23年1月調査 稲作(北海道)	
調査対象者数	2,568
回答者数	677
回答率	26.4
稲作(都府県)	
調査対象者数	3,447
回答者数	1,391
回答率	40.4



畑作

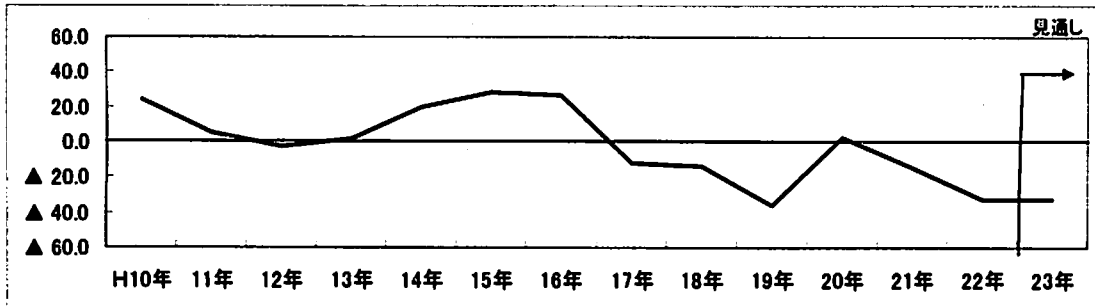
H22年1月調査	比較	H23年1月調査	比較	今後の見通し
景況DIは、▲14.5。 夏場の日照不足・長雨の影響等で収量が低下したことから、マイナスに転じた。	➡	景況DIは、▲32.2。 前年調査よりマイナス幅を拡大した。 小麦・大麦の収量が前年より低下したこと等によるためと思われる。	➡	見通しDIは、▲32.2。 マイナス幅は横ばいとなった。 新たな経営安定対策に対する期待がある一方、数年続いた収量低下への不安が入り混じっているためと思われる。

	H22年1月 実績	H23年1月 実績	見通し
畑作	▲ 14.5	▲ 32.2	▲ 32.2
1 良い	21.8	14.8	18.1
2 変わらない	41.9	38.7	35.6
3 悪い	36.3	46.8	48.3

H23年1月調査

畑作

調査対象者数	2,550
回答者数	631
回答率	24.7



露地野菜

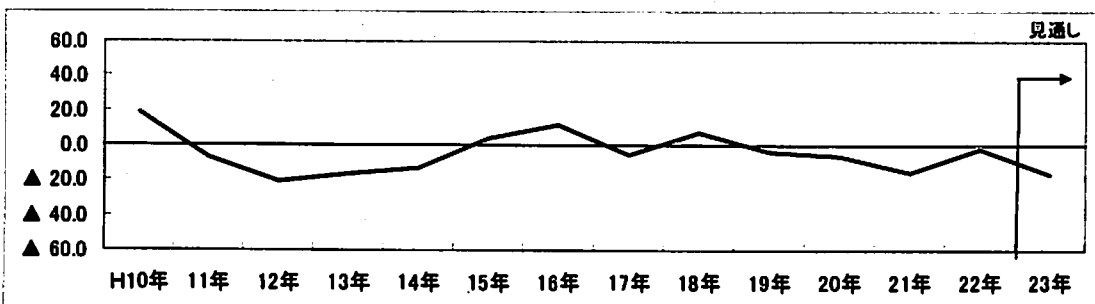
H22年1月調査	比較	H23年1月調査	比較	今後の見通し
景況DIは、▲15.4。 夏場の日照不足・長雨により生育が遅れたこと、一部作目で需給調整が実施されたこと等から、マイナス幅は拡大した。	➡	景況DIは、▲2.0。 前年調査よりマイナス幅を縮小した。夏場の高温等による品薄で総じて価格が堅調に推移したためと思われる。	➡	見通しDIは、▲16.0。 マイナス幅を拡大した。 根菜類を中心とした需要が減少しているためと思われる。

	H22年1月 実績	H23年1月 実績	見通し
露地野菜	▲ 15.4	▲ 2.0	▲ 16.0
1 良い	19.8	30.3	20.4
2 変わらない	45.1	37.4	43.1
3 悪い	35.2	32.3	36.5

H23年1月調査

露地野菜

調査対象者数	1,342
回答者数	409
回答率	30.5



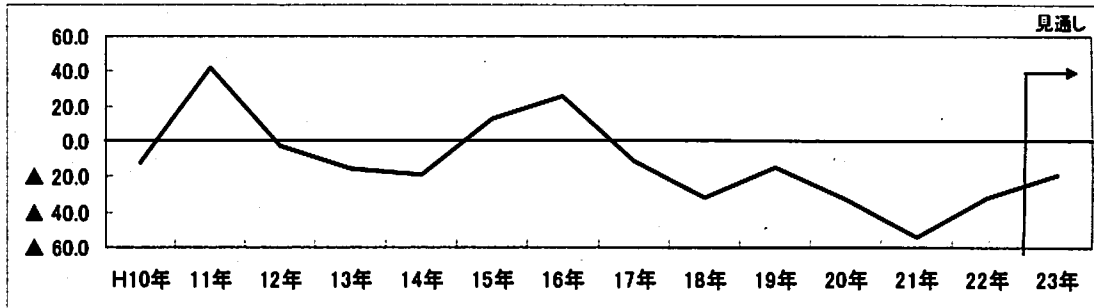
茶

H22年1月調査	比較	H23年1月調査	比較	今後の見通し
景況DIは、▲54.2。 消費減少により価格低下が続いていたことから、マイナス幅が拡大した。	➡	景況DIは、▲32.1。 前回調査よりマイナス幅を縮小した。 凍霜害の影響で一部に大きな被害がでたが、生産量の減少により価格が上昇したためと思われる。	➡	見通しDIは、▲19.1。 マイナス幅を縮小した。 21年まで価格が大きく低下していたが、22年に持ち直したため、九州を中心に景況感が改善したためと思われる。

	H22年1月 実績	H23年1月 実績	見通し
茶	▲ 54.2	▲ 32.1	▲ 19.1
1 良い	7.9	20.2	23.7
2 変わらない	30.0	27.5	33.5
3 悪い	62.1	52.3	42.8

H23年1月調査

茶	
調査対象者数	499
回答者数	195
回答率	39.1



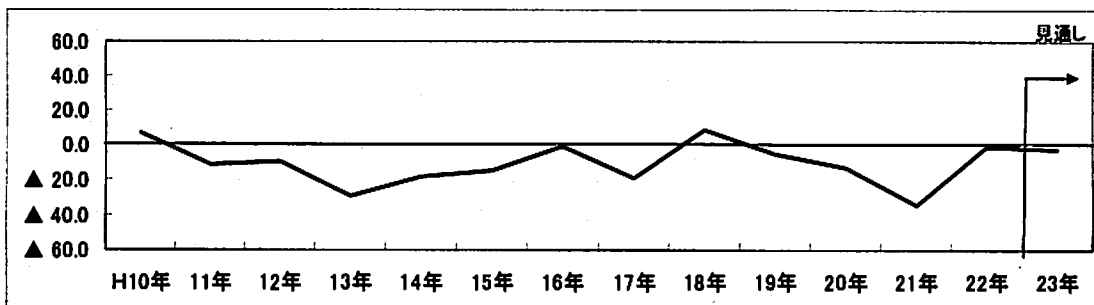
果樹

H22年1月調査	比較	H23年1月調査	比較	今後の見通し
景況DIは、▲34.1。 景気低迷の影響等から価格が低下したことから、マイナス幅を拡大した。	➡	景況DIは、▲0.9。 前年調査よりマイナス幅を縮小した。22年は豊年で生産量が減少したこと、猛暑で小玉化したことで、出荷量は減少したものの、価格が上昇したためと思われる。	➡	見通しDIは、▲2.6。 マイナス幅はほぼ横ばいとなった。23年は豊年になるため、価格が軟調になる懸念もあるが、調査時点の価格が堅調だったためと思われる。

	H22年1月 実績	H23年1月 実績	見通し
果樹	▲ 34.1	▲ 0.9	▲ 2.6
1 良い	12.2	26.1	30.5
2 変わらない	41.5	46.8	36.3
3 悪い	46.3	27.0	33.1

H23年1月調査

果樹	
調査対象者数	915
回答者数	348
回答率	38.0

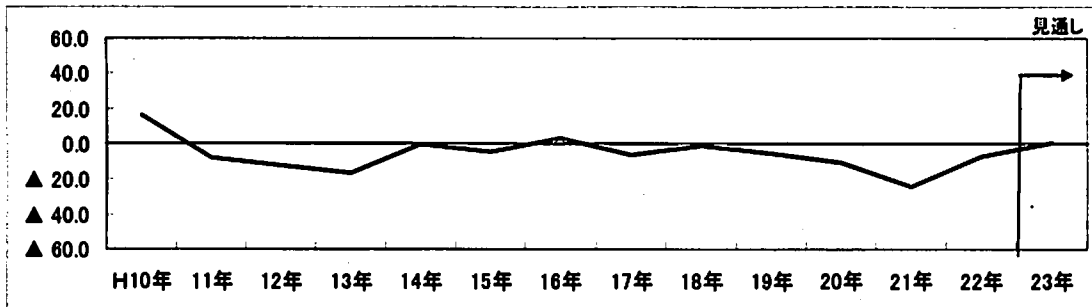


施設野菜

H22年1月調査	比較	H23年1月調査	比較	今後の見通し
景況DIは、▲23.8。 景気低迷の影響等から業務用需要が弱まっていたことから、マイナス幅を拡大した。	➡	景況DIは、▲6.9。 前年調査よりマイナス幅を縮小した。夏場の高温等による品薄でトマト等の価格が堅調に推移したこと等によるためと思われる。	➡	見通しDIは、1.2。 プラスに転換した。 調査時点では、トマトの価格が堅調だったことや、原油価格が高騰時に比べ弱含みで推移していたためと思われる。

	H22年1月 実績	H23年1月 実績	見通し
施設野菜	▲ 23.8	▲ 6.9	1.2
1 良い	16.6	27.7	29.4
2 変わらない	42.9	37.6	42.4
3 悪い	40.4	34.6	28.2

H23年1月調査 施設野菜	
調査対象者数	1,365
回答者数	433
回答率	31.7

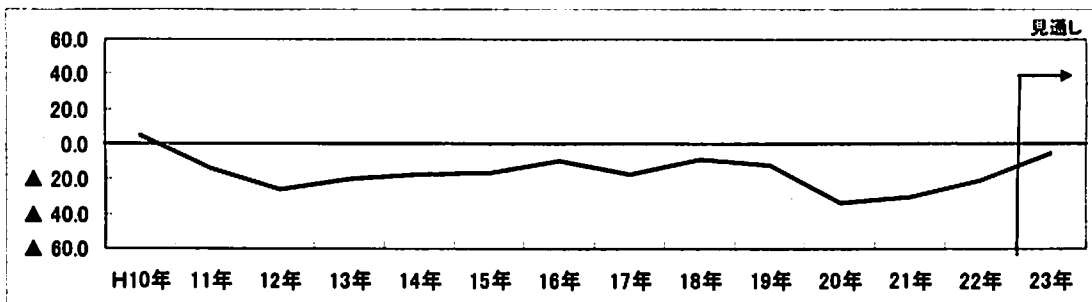


施設花き

H22年1月調査	比較	H23年1月調査	比較	今後の見通し
景況DIは、▲29.7。 景気低迷の影響があったが、仏花用単価は前年並みであったこと等から、ほぼ横ばいとなった。	➡	景況DIは、▲20.5。 前年調査よりマイナス幅を縮小した。猛暑等の影響により出荷量が減少したものの、総じて価格が堅調に推移したためと思われる。	➡	見通しDIは、▲5.1。 マイナス幅を縮小した。 調査時点では、原油価格が高騰時に比べ弱含みで推移していたこと等のためと思われる。

	H22年1月 実績	H23年1月 実績	見通し
施設花き	▲ 29.7	▲ 20.5	▲ 5.1
1 良い	14.7	21.8	27.1
2 変わらない	40.9	36.3	40.8
3 悪い	44.4	42.1	32.2

H23年1月調査 施設花き	
調査対象者数	941
回答者数	292
回答率	31.0



きのこ

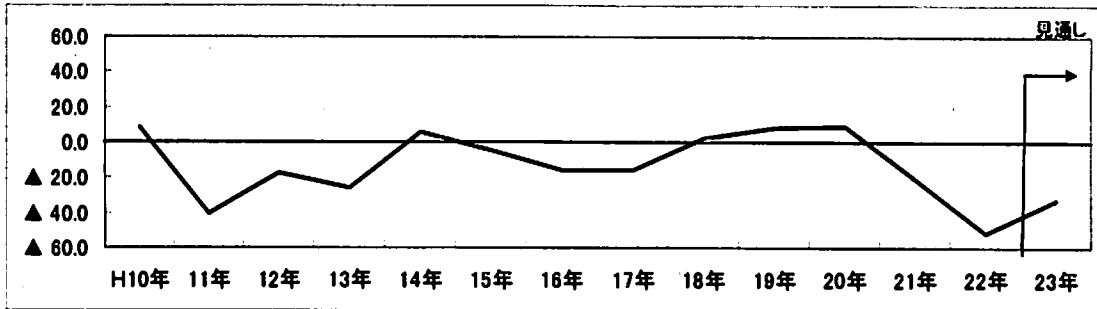
H22年1月調査	比較	H23年1月調査	比較	今後の見通し
景況DIは、▲20.4。 増産意欲が高まり、供給量が増加したことにより価格が低下したため、マイナスに転じた。	➡	景況DIは、▲51.8。 前年調査よりマイナス幅を拡大した。一部品目で価格が軟調に推移したこと等のためと思われる。	➡	見通しDIは、▲32.5。 マイナス幅を縮小した。調査時点では、冬場の鍋物需要があり、今後の価格改善期待があらわれているためと思われる。

	H22年1月 実績	H23年1月 実績	見通し
きのこ	▲ 20.4	▲ 51.8	▲ 32.5
1 良い	18.9	9.6	18.1
2 変わらない	41.8	28.9	31.3
3 悪い	39.3	61.4	50.6

H23年1月調査

きのこ

調査対象者数	227
回答者数	83
回答率	36.6



酪農(北海道・都府県別)

H22年1月調査	比較	H23年1月調査	比較	今後の見通し
景況DIは、北海道13.2、都府県21.8。 乳価引上げにより、プラスに転換し、全業種の中で唯一のプラス値となった。	➡	景況DIは、北海道▲37.8、都府県0.0。 北海道は、マイナスに転じ、都府県はプラス幅を縮小した。北海道は生クリーム向け乳価引下げ、都府県は猛暑での乳量・繁殖成績等の影響のためと思われる。	北海道 ➡ 都府県 ➡	見通しDIは、北海道は▲30.2、都府県は▲5.1。 北海道は、わずかにマイナス幅を縮小した。一方、都府県では、マイナスに転じた。猛暑の影響が23年まで続くためと思われる。

	H22年1月 実績	H23年1月 実績	見通し
酪農(北海道)	13.2	▲ 37.8	▲ 30.2
1 良い	37.3	17.3	15.3
2 変わらない	38.6	27.6	39.1
3 悪い	24.1	55.1	45.6
酪農(都府県)	21.8	0.0	▲ 5.1
1 良い	40.4	30.5	26.5
2 変わらない	41.0	39.1	41.9
3 悪い	18.6	30.5	31.6

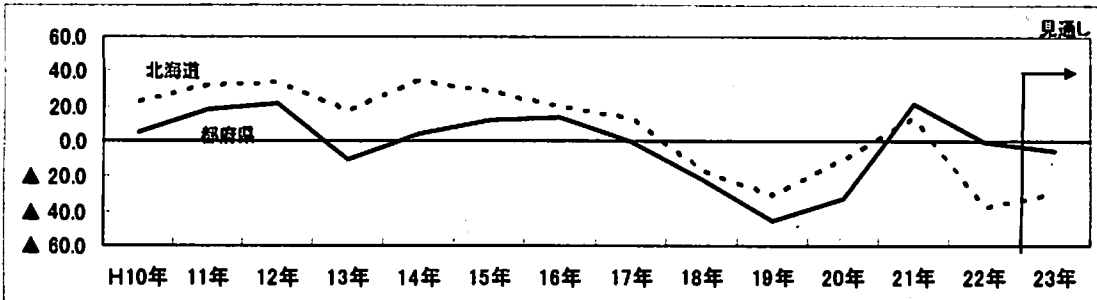
H23年1月調査

酪農(北海道)

調査対象者数	2,630
回答者数	445
回答率	16.9

酪農(都府県)

調査対象者数	1,418
回答者数	372
回答率	26.2



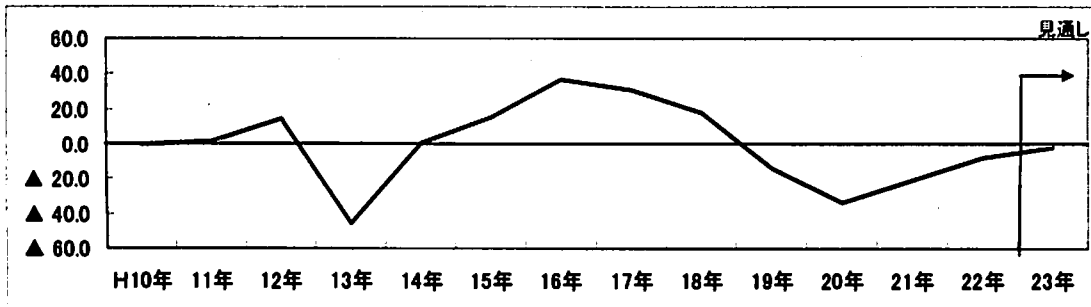
肉用牛

H22年1月調査	比較	H23年1月調査	比較	今後の見通し
景況DIは、▲20.7。 価格は軟調に推移していたものの、配合飼料価格が高騰時より落ち着きを見せていたことから、マイナス幅は縮小した。	➡	景況DIは、▲7.4。 前年調査よりマイナス幅を縮小した。価格はいぜんとして軟調に推移しているが、販売価格に対する飼料費・薬畜費等の生産コスト割合が低下したためと思われる。	➡	見通しDIは、▲1.7。 マイナス幅を縮小した。 調査時点では、景気回復期待が大きく、牛肉需要増による価格回復への期待があらわれているためと思われる。

	H22年1月 実績	H23年1月 実績	見通し
肉用牛	▲ 20.7	▲ 7.4	▲ 1.7
1 良い	20.3	25.9	28.2
2 変わらない	38.6	40.9	41.9
3 悪い	41.0	33.2	29.9

H23年1月調査

肉用牛	
調査対象者数	1,014
回答者数	352
回答率	34.7



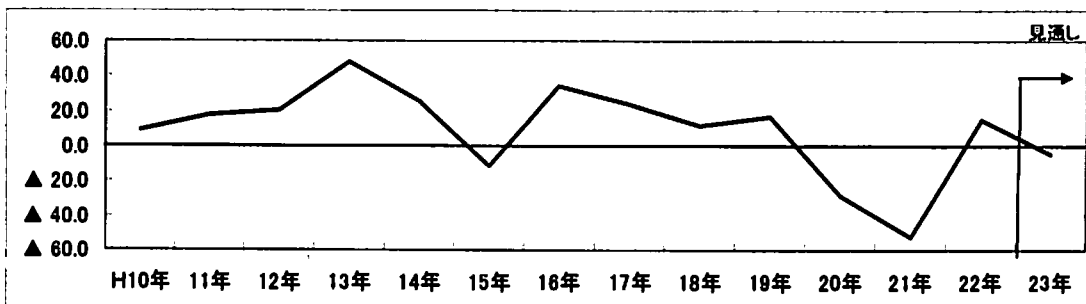
養豚

H22年1月調査	比較	H23年1月調査	比較	今後の見通し
景況DIは、▲52.4。 夏場以降の価格が軟調に推移したことから、マイナス幅は拡大した。	➡	景況DIは、15.5。 前年調査より大幅プラスに転じた。価格が前年に比べて堅調に推移したことや、配合飼料価格が前年を下回って推移したためと思われる。	➡	見通しDIは、▲4.7。 マイナスに転じた。 1~3月期の配合飼料価格の引上げや猛暑の影響が残っていること等のためと思われる。

	H22年1月 実績	H23年1月 実績	見通し
養豚	▲ 52.4	15.5	▲ 4.7
1 良い	9.1	39.9	27.6
2 変わらない	29.3	35.7	40.1
3 悪い	61.5	24.4	32.3

H23年1月調査

養豚	
調査対象者数	723
回答者数	258
回答率	35.7



採卵鶏

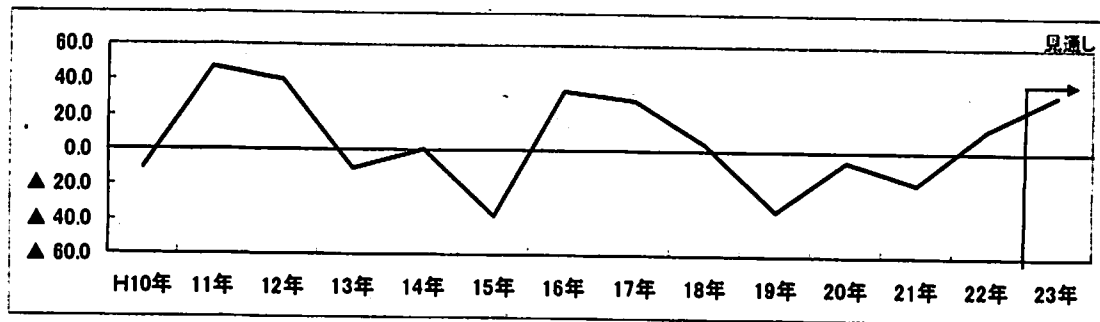
H22年1月調査	比較	H23年1月調査	比較	今後の見通し
景況DIは、▲18.1。 価格が軟調に推移したことから、マイナス幅を拡大した。	➡	景況DIは、14.1。 前年調査より大幅プラスに転じた。価格が前年より堅調に推移したことや配合飼料価格が前年を下回って推移したためと思われる。	➡	見通しDIは、33.1。 プラス幅を拡大した。 23年度からの新しい経営安定対策(価格差補てん+成鶏更新)に対する期待があらわれているためと思われる。

	H22年1月 実績	H23年1月 実績	見通し
採卵鶏	▲18.1	14.1	33.1
1 良い	17.4	36.2	43.9
2 変わらない	47.2	41.6	45.3
3 悪い	35.4	22.1	10.8

H23年1月調査

採卵鶏

調査対象者数	307
回答者数	149
回答率	48.5



■DI時系列データ

1. 景況判断DI

	平成10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
農業全体	6.7	▲1.9	▲7.2	▲7.5	▲0.8	7.5	1.8	▲2.6	▲5.9	▲18.0	▲6.6	▲17.4	▲25.2
水稲(北海道)	3.3	▲13.6	▲19.5	1.4	▲16.1	11.0	▲37.9	▲22.7	▲8.1	▲16.0	24.5	▲29.0	▲36.9
水稲(都府県)	▲14.7	▲17.8	▲28.0	▲9.4	▲9.0	11.3	▲23.0	▲2.8	▲7.8	▲21.4	9.1	▲11.7	▲55.5
畑作	23.8	5.2	▲2.5	1.4	19.5	28.6	26.3	▲12.1	▲13.4	▲36.3	2.8	▲14.5	▲32.2
露地野菜	18.6	▲6.7	▲20.2	▲15.9	▲13.2	4.3	11.6	▲5.0	7.7	▲3.1	▲5.6	▲15.4	▲2.0
茶	▲12.4	42.1	▲2.4	▲15.4	▲18.5	12.8	25.8	▲11.1	▲31.6	▲14.3	▲32.4	▲54.2	▲32.1
果樹	7.2	▲10.9	▲9.4	▲29.0	▲17.9	▲14.6	▲0.7	▲18.6	8.6	▲4.9	▲13.0	▲34.1	▲0.9
施設野菜	16.5	▲7.8	▲11.6	▲16.3	▲0.2	▲4.0	3.8	▲6.1	▲0.5	▲4.9	▲10.4	▲23.8	▲6.9
施設花き	5.3	▲13.4	▲25.3	▲20.1	▲16.9	▲16.2	▲9.5	▲17.0	▲8.7	▲11.7	▲33.5	▲29.7	▲20.5
きのこ	8.6	▲40.1	▲17.4	▲25.7	6.2	▲4.1	▲15.0	▲15.0	2.2	8.4	9.3	▲20.4	▲51.8
酪農(北海道)	22.4	31.6	33.1	16.9	34.7	28.1	20.1	12.5	▲16.1	▲30.5	▲10.5	13.2	▲37.8
酪農(都府県)	4.7	18.4	21.0	▲10.6	4.4	11.9	14.1	0.1	▲21.6	▲45.0	▲32.6	21.8	0.0
肉用牛	0.0	1.5	15.0	▲45.2	0.6	15.1	36.8	30.9	18.0	▲14.1	▲33.4	▲20.7	▲7.4
養豚	9.6	18.4	20.5	48.0	25.4	▲10.8	34.3	23.6	11.6	16.9	▲28.0	▲52.4	15.5
採卵鶏	▲10.4	46.8	40.1	▲10.6	0.9	▲37.5	34.0	29.5	4.4	▲33.9	▲4.8	▲18.1	14.1

2. 収支DI

	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
農業全体	12.1	▲1.7	▲8.8	▲6.9	2.9	16.6	3.0	▲1.7	▲5.5	▲20.7	▲0.1	▲21.9	▲26.3
水稲(北海道)	16.5	▲24.2	▲30.2	7.7	▲25.2	34.8	▲55.1	▲23.8	1.9	▲17.0	56.2	▲45.7	▲40.8
水稲(都府県)	▲21.9	▲22.2	▲33.5	▲7.8	▲8.6	22.3	▲39.1	3.7	▲7.8	▲23.3	24.0	▲16.9	▲61.1
畑作	30.8	7.9	▲9.3	4.3	36.3	41.8	39.2	▲25.2	▲17.2	▲53.9	13.2	▲16.7	▲32.3
露地野菜	37.7	▲14.4	▲30.9	▲14.6	▲12.6	17.3	20.9	▲4.0	19.3	1.6	▲1.6	▲13.9	0.5
茶	▲25.5	56.3	▲13.4	▲31.8	▲33.0	24.3	37.7	▲24.0	▲54.2	▲6.7	▲39.3	▲76.4	▲26.3
果樹	16.7	▲5.1	▲4.7	▲33.6	▲14.7	▲12.8	3.4	▲19.8	20.2	5.1	▲9.5	▲45.7	1.4
施設野菜	31.8	▲6.9	▲16.5	▲18.5	5.7	▲1.4	10.2	▲6.3	4.9	1.9	▲6.8	▲25.2	▲8.5
施設花き	15.8	▲13.7	▲29.8	▲15.8	▲12.3	▲13.2	▲8.8	▲19.5	▲6.6	▲4.6	▲40.8	▲36.5	▲20.2
きのこ	▲1.4	▲61.0	▲10.2	▲34.8	18.7	▲12.4	▲21.4	▲18.0	9.2	13.8	16.3	▲34.4	▲50.0
酪農(北海道)	31.2	43.2	42.6	19.9	47.9	35.5	25.1	10.3	▲29.4	▲42.2	▲6.5	33.2	▲44.0
酪農(都府県)	7.7	27.9	33.8	▲13.6	11.1	23.3	22.2	2.4	▲29.6	▲58.8	▲35.5	39.5	▲0.8
肉用牛	0.5	0.0	24.9	▲64.5	10.2	25.3	61.0	46.4	23.8	▲21.7	▲50.2	▲31.4	▲5.7
養豚	0.5	24.8	26.4	66.1	34.8	▲26.6	49.7	30.0	12.9	26.3	▲38.2	▲70.4	21.3
採卵鶏	▲20.9	67.9	56.2	▲24.4	▲1.7	▲51.3	50.5	38.9	▲2.0	▲56.1	0.0	▲28.2	29.5

3. 資金DI

	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
農業全体	4.2	▲4.8	▲9.1	▲10.4	▲1.3	7.2	1.0	▲4.6	▲8.4	▲20.8	▲8.2	▲14.6	▲14.7
水稲(北海道)	1.2	▲11.7	▲18.7	3.3	▲11.1	15.9	▲36.3	▲21.4	▲5.6	▲8.0	26.8	▲20.2	▲18.2
水稲(都府県)	▲19.7	▲24.3	▲33.4	▲13.9	▲11.0	8.7	▲27.6	▲7.1	▲10.4	▲24.5	8.4	▲10.2	▲38.1
畑作	24.4	4.3	0.5	1.3	20.5	35.5	32.4	▲9.2	▲15.1	▲38.3	5.3	▲5.2	▲12.0
露地野菜	18.0	▲6.1	▲20.8	▲20.0	▲13.1	3.9	13.8	▲0.9	7.5	▲2.6	▲4.0	▲12.4	2.0
茶	▲16.6	43.0	▲4.5	▲20.1	▲24.5	6.5	21.5	▲15.1	▲38.2	▲24.3	▲37.3	▲57.5	▲28.9
果樹	5.4	▲15.5	▲11.8	▲31.8	▲19.5	▲16.7	0.9	▲22.4	9.8	▲4.5	▲11.0	▲32.4	▲6.6
施設野菜	13.4	▲18.1	▲19.5	▲19.7	▲4.9	▲6.8	1.8	▲11.7	▲5.3	▲11.0	▲14.4	▲25.2	▲4.2
施設花き	▲0.4	▲18.7	▲32.5	▲28.0	▲19.1	▲20.2	▲14.1	▲22.4	▲11.0	▲15.1	▲36.3	▲31.2	▲19.2
きのこ	0.0	▲55.1	▲28.9	▲40.2	4.4	▲3.1	▲21.4	▲19.8	▲4.2	12.6	6.7	▲22.3	▲37.3
酪農(北海道)	23.1	33.4	39.1	18.3	38.1	32.0	18.9	9.1	▲17.3	▲31.7	▲9.9	20.1	▲18.9
酪農(都府県)	▲2.7	19.4	18.3	▲15.3	0.5	9.3	10.1	▲8.2	▲35.7	▲60.0	▲36.4	28.3	3.5
肉用牛	▲3.4	▲3.7	15.1	▲55.9	▲0.9	8.3	37.4	32.6	16.8	▲22.0	▲40.1	▲19.5	▲2.8
養豚	2.3	12.6	21.4	51.8	26.9	▲16.5	33.6	23.5	10.8	13.2	▲41.0	▲61.1	16.7
採卵鶏	▲6.7	53.5	48.4	▲9.4	3.9	▲46.7	43.8	41.6	8.3	▲39.0	▲14.0	▲16.9	18.1

4. 今後の見通しDI

	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
農業全体	19.9	11.6	3.0	1.4	5.1	14.7	9.9	1.3	▲7.2	▲18.1	▲5.9	▲12.8	▲19.9
水稲(北海道)	3.0	▲9.9	▲16.9	2.2	▲21.8	▲3.8	▲46.8	▲42.8	▲32.5	▲22.3	▲3.2	▲20.8	▲41.3
水稲(都府県)	0.0	▲13.6	▲32.4	▲7.2	▲19.2	5.2	▲13.4	▲9.0	▲12.6	▲23.9	▲4.0	▲8.7	▲39.3
畑作	18.8	8.1	6.2	3.1	12.2	13.9	0.3	▲28.2	▲49.2	▲50.2	▲31.3	▲28.0	▲32.2
露地野菜	30.6	19.6	▲2.0	▲18.9	▲4.1	9.5	13.1	10.5	0.5	▲0.5	▲9.2	▲9.8	▲16.0
茶	47.9	22.9	3.0	▲6.6	8.0	14.2	18.1	8.1	▲1.6	▲19.6	▲46.7	▲52.2	▲19.1
果樹	34.1	23.7	16.5	5.9	4.8	14.4	30.1	16.9	39.7	24.4	3.8	0.8	▲2.6
施設野菜	31.3	12.2	2.1	▲3.7	8.3	10.9	17.6	15.2	21.5	▲1.2	▲2.1	▲13.0	1.2
施設花き	29.8	13.9	▲4.8	▲4.2	1.9	19.8	5.2	8.5	18.5	▲9.0	▲18.3	▲15.4	▲5.1
きのこ	▲11.1	▲25.4	▲2.3	▲19.6	17.6	▲2.3	▲3.1	2.7	19.3	16.1	10.6	▲14.1	▲32.5
酪農(北海道)	0.0	50.6	53.1	28.6	48.9	45.4	32.5	▲3.1	▲29.5	▲23.3	12.8	▲25.4	▲30.2
酪農(都府県)	29.1	40.3	38.2	8.9	39.0	45.2	48.9	14.4	▲22.6	▲36.1	26.7	7.7	▲5.1
肉用牛	29.6	27.4	25.3	▲24.7	26.9	34.7	34.6	34.0	31.3	▲21.1	▲10.9	▲1.0	▲1.7
養豚	34.1	36.7	44.6	42.1	25.2	40.6	46.6	48.3	17.5	2.8	▲13.7	1.9	▲4.7
採卵鶏	56.7	39.0	10.5	14.4	▲1.1	▲23.7	64.4	▲0.5	▲10.4	▲38.3	▲10.6	▲14.8	33.1

5. 販売単価DI

	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
農業全体	▲28.7	▲43.4	▲47.9	▲47.1	▲33.9	▲4.3	▲29.0	▲42.5	▲39.6	▲45.6	▲21.5	-	▲41.3
水稲(北海道)	▲26.9	▲58.4	▲74.7	▲38.5	▲68.9	17.7	▲86.7	▲80.4	▲42.1	▲60.4	5.7	-	▲84.0
水稲(都府県)	▲43.6	▲74.7	▲83.0	▲54.4	▲56.5	32.7	▲74.6	▲62.1	▲60.5	▲76.8	▲11.6	-	▲85.8
畑作	▲34.8	▲34.6	▲52.7	▲44.3	▲38.0	▲16.0	▲46.2	▲71.2	▲67.9	▲85.0	▲39.5	-	▲40.4
露地野菜	9.0	▲50.3	▲58.7	▲55.5	▲39.0	▲16.7	▲4.2	▲36.3	▲14.0	▲27.6	▲37.2	-	9.8
茶	▲42.9	35.8	▲44.3	▲58.3	▲38.3	▲4.5	▲3.0	▲58.5	▲68.5	▲47.1	▲71.3	-	▲36.6
果樹	20.2	▲39.9	▲12.7	▲68.9	▲28.7	▲30.0	6.1	▲56.2	17.7	▲21.5	▲33.2	-	20.1
施設野菜	11.8	▲32.5	▲49.6	▲61.2	▲20.4	▲33.3	▲18.8	▲38.4	▲27.2	▲23.1	▲30.3	-	▲14.3
施設花き	▲33.7	▲57.0	▲66.8	▲58.4	▲50.6	▲45.9	▲35.9	▲40.2	▲25.3	▲27.6	▲69.7	-	▲37.3
きのこ	▲81.9	▲87.3	▲40.6	▲77.2	▲9.9	▲55.8	▲65.6	▲61.3	▲21.0	▲14.0	▲14.4	-	▲69.9
酪農(北海道)	▲42.8	▲2.2	19.1	▲31.7	13.0	8.3	▲14.2	▲39.7	▲74.3	▲50.7	24.7	-	▲66.7
酪農(都府県)	▲50.9	▲44.9	▲29.7	▲40.5	▲0.2	▲0.4	▲8.1	▲44.8	▲72.8	▲62.0	2.8	-	▲5.9
肉用牛	▲29.3	▲27.4	2.1	▲78.6	▲12.4	42.6	62.6	58.4	28.4	▲30.4	▲71.8	-	▲33.6
養豚	▲48.8	▲55.6	▲37.5	65.7	10.2	▲51.8	52.0	28.5	16.2	68.7	▲28.1	-	11.2
採卵鶏	▲56.4	56.6	8.5	▲65.0	▲28.3	▲76.3	53.4	20.5	▲19.3	▲36.6	25.1	-	38.9

6. 生産コストDI

	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
農業全体	▲7.0	▲5.3	▲7.8	▲8.7	▲8.5	▲8.1	▲20.8	▲29.0	▲37.4	▲60.9	▲63.5	-	▲43.6
水稲(北海道)	▲12.5	▲13.0	▲12.1	▲4.6	▲7.3	▲0.4	▲28.4	▲34.4	▲35.1	▲55.2	▲65.3	-	▲47.8
水稲(都府県)	▲12.4	▲14.7	▲14.1	▲6.8	▲7.0	▲2.5	▲20.7	▲18.8	▲21.5	▲44.0	▲49.2	-	▲38.6
畑作	▲12.3	▲21.4	▲16.0	▲9.2	▲5.2	▲2.5	▲18.1	▲23.9	▲34.4	▲65.9	▲72.7	-	▲55.2
露地野菜	▲15.1	▲15.0	▲19.8	▲16.4	▲10.8	▲8.4	▲21.4	▲30.2	▲30.6	▲50.7	▲66.7	-	▲54.4
茶	2.3	31.2	0.9	▲4.8	▲0.4	0.0	▲7.2	▲25.6	▲33.5	▲55.8	▲66.7	-	▲38.1
果樹	▲7.4	▲14.8	▲15.3	▲20.0	▲16.7	▲18.7	▲19.5	▲23.7	▲21.3	▲41.8	▲48.6	-	▲46.0
施設野菜	▲4.9	▲11.9	▲15.6	▲6.5	▲8.8	▲14.9	▲22.2	▲39.1	▲34.5	▲61.2	▲65.4	-	▲55.9
施設花き	▲1.4	▲12.6	▲14.9	▲2.5	▲7.9	▲9.8	▲25.2	▲56.3	▲37.1	▲63.4	▲63.7	-	▲34.9
きのこ	13.3	15.3	7.8	8.7	15.4	0.8	▲14.5	▲35.1	▲16.8	▲55.2	▲58.7	-	▲38.6
酪農(北海道)	▲0.6	17.9	13.4	▲8.2	1.4	▲2.6	▲21.1	▲22.3	▲60.2	▲73.6	▲72.6	-	▲51.1
酪農(都府県)	▲9.4	15.9	0.8	▲25.5	▲26.9	▲17.4	▲18.7	▲40.6	▲70.2	▲87.3	▲74.2	-	▲34.0
肉用牛	4.4	11.5	1.8	▲6.0	▲17.3	▲16.1	▲26.4	▲35.3	▲52.8	▲80.2	▲79.8	-	▲42.3
養豚	7.9	29.6	17.1	▲4.6	▲9.2	▲32.0	▲21.8	▲14.8	▲50.2	▲78.9	▲71.8	-	▲21.0
採卵鶏	12.8	43.4	20.9	▲13.1	▲15.6	▲41.4	▲10.6	▲23.2	▲44.6	▲89.0	▲56.4	-	▲23.5